

砂防堰堤の整備により土砂災害から県民の生命と財産を守る

－ 椎木平沢通常砂防事業 －

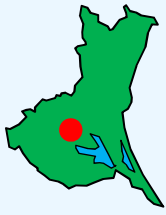
防災・減災、国土強靱化効果発揮事例

【事業箇所】

つくば市国松



保全対象



【課題背景】

土砂災害（特別）警戒区域「椎木平沢」は、筑波山西麓の斜面に位置し、山からの水が南西方向へ流下しており、溪流の一部で崩壊が進み、**土砂災害（※土石流）**が発生する恐れがありました。

土砂災害の被害想定区域には、**人家17戸と避難所に位置付けられている小学校**があり、土砂災害による被害を未然に防ぐことを目的に2010年から対策工事を始めました。

※土石流は、山や谷の土砂や石などが水と一緒に流れて溪流を下る現象

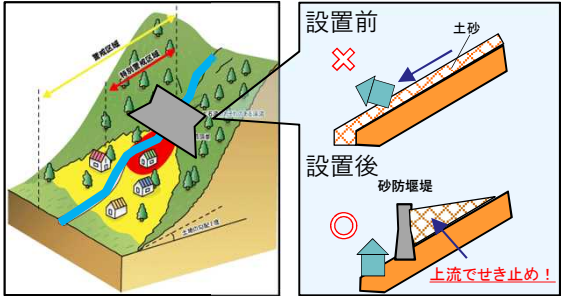
配置・経過

2014年に第1堰堤、2017年に第2堰堤が完成
2023年末に溪流保全施設L=240mと管理用通路が完成



対策方法

土石流の恐れがある箇所に**砂防堰堤**を設置し、土砂が人家まで行かないよう上流側で捕捉



凡	例
人	家
公共施設（小学校）	
砂防堰堤	
溪流保全施設	
管理用道路	
溪流	
土砂災害警戒区域	
土砂災害特別警戒区域	

対策方法

下流側は、水の力で土砂が削られないよう勢いを弱め安全に流すための**溪流保全施設**を設置



<整備効果>

【従前】

○これまでは、山水の流下により溪流の一部が崩壊し、土砂災害の発生の恐れがあった。



【砂防堰堤設置後】

○令和5年梅雨前線及び台風第2号など平成以降最大の大雨においても**「被害なし」**
※24時間雨量254mm つくば館野観測所



砂防堰堤設置により
人家・小学校の安全度が向上！